

表紙・目次等（執筆者一覧含む）

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	タイの経済発展とインフォーマル・セクター
発行年	1993
出版者	アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00017373

タイ
日本

共同研究

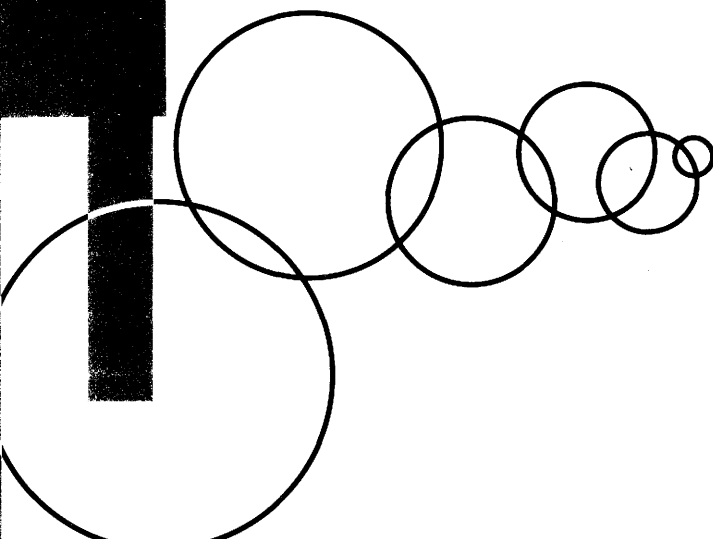


ASEAN等現地研究シリーズ

No. 15

タイの経済発展と インフォーマル・セクター

パスク・ボンパイット 編
糸賀 滋



アジア経済研究所

1993

ASEAN等現地研究シリーズ

No. 15



タイ日本共同研究

タイの経済発展と インフォーマル・セクター

パスク・ポンパイチット

糸賀 滋

編

アジア経済研究所

1993

タイの経済発展と
インフォーマル・セクター

ASEAN 等現地研究シリーズ No. 15

タイの経済発展と
インフォーマル・セクター

編 者—— パスク・ポンパイチット
糸賀 滋

発行所—— アジア経済研究所

〒162 東京都新宿区市谷本村町 42
電話 (03) 3353-4231

制 作—— 倉敷印刷株式会社

1993 年 1 月 30 日

©ISBN4-258-20015-8 C3033

Printed in Japan

IDE

ISBN4-258-20015-8 C3033

目 次

まえがき

第1章 タイにおける都市インフォーマル・セクター：概観	
—— Dr. Pasuk Phongpaichit	3

はじめに 3

I. サービス・輸出主導型成長	6
II. 都市労働者の供給源である農村	9
III. 都市雇用におけるインフォーマル・セクター	12
IV. 都市インフォーマル・セクター労働市場のいくつかの側面	18
1. 地域集中度	18
2. 労働移動の状況	19
3. 年齢, 性別, 教育	20
4. 賃金	21
V. タイの工業化における都市部のインフォーマル・セクター：展望と政策	27

第2章 個人店舗既製服産業：バンコクにおけるインフォーマル・セクターのケース・スタディー	
—— Dr. Voravidh Charoenloet	35

はじめに 35

I. タイ経済におけるインフォーマル・セクターの重要性	36
II. 衣料品産業におけるインフォーマル・セクターの「源泉」	37

III. 既製服製造業における下請け	38
IV. 個人店舗既製服製造業の成長	42
V. インフォーマルな個人店舗への参入	43
VI. 個人店舗既製服産業の労働者	44
VII. マネージメントと技術の形成	45
VIII. 労働と賃金の条件	47
IX. 従業員のベネフィット	48
X. 社会的関係の特徴	49
1. オーナーと従業員の関係	49
2. お針子たちの関係	50
3. 衣料品店のオーナー間の関係	51
4. 衣料品店と役人の関係	52
XI. 個人店舗衣料品生産者のマーケット・システム	53
むすび	54

第3章 バンコクの露店商 ——— 糸賀 滋 59

はじめに 59

I. 当局による規制 59

II. 営業状況 60

まとめ 62

〈付録〉サンプル・リスト 63

第4章 インフォーマル・セクターにおける世帯の住宅ニーズと購買可能性 ——— Dr. Kitti Limskul 69

はじめに 69

I. 本研究におけるインフォーマル・セクターの概念と定義 71

II. 住宅ニーズと購買可能性 77

1. 住宅ニーズ 77

2. インフォーマル・セクターにおける世帯の住宅購買可能性 80

III. 議論と政策課題 82

第5章 タイ・東北地方の労働移動 — Mr. Nikon Veesaphen

..... 89

はじめに 89

I. 労働移動の背景, 原因, 理由 90

1. 労働移動とはなにか 90

2. 一般的な労働者のもつ5つの特徴 90

3. 5つの分類・移動の特徴 91

4. 労働移動の理由と必要性 91

II. 労働者募集の特徴, 仕事の種類, 移動労働者が直面する生活環境と問題 92

1. 労働者募集の特徴 92

2. 特徴, 移動労働者の仕事のタイプ 93

3. 移動労働者にとってバンコクの生活状況はどうか 94

4. 労働移動の問題 94

5. 現行の労働移動 96

III. 労働移動の将来の趨勢, 労働市場, 労働移動のための準備 97

1. 労働移動の趨勢とそれへのアプローチ 97

2. バンコク首都圏の労働市場 97

3. 移動労働者はどのように移動の準備をするのか 98

4. コミュニティリーダーと政府役人との意見交換の結果 98

5. 故郷から離れた場所に子供を働きに行かせることは村にとって本当に必要なのか 99

6. 家族や村人の間に労働移動に対してどんな賛成・反対の意見が

あるのか 99

7. 労働移動しないで村のなかで生活費を稼ぐ方法はないのか、他の方法はないのか 100

8. もし移動して働きたいのであれば、どのような準備をしなければならないのか 100

9. 労働移動の問題 101

〈付録〉 106

第6章 都市インフォーマル・セクターに対する政府の政策

—— Dr. Jawalaksana Rachapaetayakom ……… 115

はじめに 115

I. 第6次計画(1981-91年)における自営促進政策の課題とその履行 117

II. 第7次計画(1992-96年)におけるインフォーマル・セクター政策の諸課題 121

III. 都市インフォーマル・セクター振興の調整と過程 123

IV. 都市インフォーマル・セクターと関連機関のためのネットワーク 124

1. バンコク首都圏の職業促進(社会福祉局-DSW) 125

2. 国家技術開発(国家技術開発研究所) 127

3. 小企業家開発研修(職業教育局) 130

4. 小規模産業金融(小規模産業金融局) 132

5. 職業・技術開発研修(タイ社会福祉国家協議会) 134

6. 都市農村開発と小規模産業(人口開発協会) 137

V. 省察と提言 138

〈執筆者〉

第1章：Dr. Pasuk Phongpaichit

Faculty of Economics
Chulalongkorn University

第2章：Dr. Voravidh Charoenloet

Faculty of Economics
Chulalongkorn University

第3章：糸賀 滋

アジア経済研究所
在バンコク海外調査員

第4章：Dr. Kitti Limskul

Faculty of Economics
Chulalongkorn University

第5章：Mr. Nikorn Veasaphen

Lawyer, Coordinator
Union for Civil Liberty

第6章：Dr. Jawalaksana Rachapaetayakom

Expert
National Economic and Social
Development Board